

科目名	栽培と環境			学年	類型・コース	単位数
				3年	総合選択 G1・農業(生物と環境)	2単位
学習の目 標	作物の生育や環境要素の科学的な原理原則と技術を結び付いた学びを深め、栽培の実践力・応用力を高める					
教科書 副教材	主たる教材：栽培と環境（実教出版） 副教材：なし					
評 価	評 価 法	定期考査・小テスト・教科内実習・ノート・実習での態度・授業中の態度で評価します				
	評 価 観 点 の 趣 旨	a	知識・技術	生育と環境要素との関係に関する知識と技術，栽培環境の管理と改善に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解している		
		b	思考・判断・表現	栽培環境に関する課題を発見し，環境に配慮した栽培管理と科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養っている		
		c	主体的に学習に取り組む態度	授業や提出物に対して、期限を守り、主体的かつ協働的にとり組む態度を身につけている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10 の 10 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5 の 5 段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	栽培環境の成り立ち	生物要素・気性要素・土壌要素やそれぞれの相互関係について学ぶ	定期考査・小テスト・実習態度 実習態度	定期考査・小テスト 実習態度	ノート提出・授業態度・服装頭髪など
	5月	8	気象的要素	気性と気候の違いを理解する 日本の気候の特徴を理解する			
	6月	8	土壌的要素	土壌の役割と多様性を理解する 土壌の生成過程を知る			
	7月	4	土壌中の窒素の動態	窒素を通じて土壌中の物質循環を理解する			
夏休み							
2学期	9月	8	農地の生物群集	生物的要素の全体像を理解する	定期考査・小テスト・実習態度 実習態度	定期考査・小テスト 実習態度	ノート提出・授業態度・服装頭髪など
	10月	8	害虫害とその防除	害虫の種類を知る 害虫の生体を理解し防除に役立てる			
	11月	8	作物病害とその防除	作物の病気が起こる仕組みを理解する 効果的な病気の予防を学ぶ			
	12月	4	雑草害とその防除	雑草の形・生育の様子や場所を知る 雑草の防除商法を学ぶ			
冬休み							
3学期	1月	6	鳥獣害とその防除	農作物に被害を与える鳥類や哺乳類について知る。地域の生態系を理解し、被害の低減を図る方策を知る。	定期考査・小テスト・実習態度 実習態度	定期考査・小テスト 実習態度	ノート提出・授業態度・服装頭髪など
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）
「農業と環境」からさらに発展した内容となります。しっかりと基礎を理解してから望んでもらいたいと思います。